

## 鹿児島市及び連携中枢都市圏3市の市民活動団体のご紹介



みま～も・かごしま 水口 義夫(みずぐち・よしお)

「見守る」をキーワードに東京大田区で始まった「みま～も」という取り組みが鹿児島でも進んでいる。その一つが、鹿児島独自の取り組みとして昨年6月に始まった「みま～もカフェ」だ。地域の集い場として、少しずつ認知されて始めているみま～もカフェ。発起人の水口義夫（みずぐち・よしお）さん、そしてカフェの看板ウェイター、善ちゃん（御歳90歳）に話を聞いた。

### お客さんで来た人が、他のお客さんの聞き役にもなる

ここは介護保険の施設ではありません。地域の集いの場であって欲しいと思っています。いろんな人が集まれて、ふらっと立ち寄れる場所であって欲しい。ここでは、お客さんがホスト役になって、他のお客さんの話し相手にもなったりします。そういう場所です。例えば、90代と70代の親子や学生が同じ空間でくつろぐなど、多様な人たちの受け皿でいたいと思っています。そのために、小さいイベントも定期的開催しています。やはり近所の人にはたくさん来て欲しい。そのためのきっかけづくりとしてのイベントを企画することは大事ですね。

営業日に絶対に来てくれる人とか、鹿児島大学の学生さんとか、少しずつですが増えてきています。それが嬉しいんですね。ふらっとここに来て、ホットサンドを食べて、何気ない会話をして、ふらっと帰る。そんな日常がここにはあります。

### 稼ぐことではなく、社会貢献を

（水口さん）

始めた時にはカフェはありませんでした。元々、高齢者のデイサービスをやっていたので、地域密着型サービスを実現するために、みま～もをやるのが近道だと思って始めたんです。最初はなかなかスポット的な活動しかできず、進んでいる実感はありませんでした。だから拠点を作りたかったのもあります。たまたま一緒にやっていた人の実家が空き家になるということで、そこでカフェをすることに決めました。昨年（令和元年）の4月からクラウドファンディングで資金調達をはじめ、6月1日にオープンして、少しずつ思いは実現していますが、まだ大きなうねりにはなっていない、そこをどう肉付けするかが今後の課題ですね。

(善ちゃん)

もう90歳を超えましたが、社会貢献がちょっとでもできないかと探しました。稼ぐなら新聞配達とかもあるけど、稼ぐことじゃない。社会にどう貢献できるかが大事だったんです。元々小学校の教員をしていたので、今はなんとか年金で生活できます。暮らしで困っていないのに老後をただテレビを見て過ごすような老後はあかなあって思いました。そんな時に水口君に引っ張ってもらったんです。社会にちょっとでも奉仕していこうという考え方を実現できそうだなと思いました。

## ここに来ることで、お客さんの家族も笑顔になれる

みんな笑顔なんです。ここにいる人が笑顔だから、お客さんも笑顔でいなくなるんですよ。雰囲気さがすごくいい。お客さんには笑顔で喜んで帰ってもらうことが肝心です。ぼくらが元気が無かったら、お客さんは何で来たのか分からなくなってしまう。それは良くないでしょう。来てくれたお客さんに笑顔で帰ってもらうこと、それがこの方向性なんです。笑顔で帰ってくると、その人の家族もきっと笑顔になる。逆に言うと、家族でいるときに笑顔でいれないのに、ここでも笑顔にはなれないと思います。家族という時も笑顔でいようと意識するんです。ぼくたちが笑顔でいることで、お客さんだけでなく、お客さんの家族も笑顔になれる、とても良いことでしょ。

## 僕らは裏方として、点と点を繋いでいく

困りごとってという考えはあまりしていないけど、まちづくりって、こういうカフェを1つ大きくどーんと作って完結することじゃないですよ。地域やまちが抱える課題は一つ一つ細かくて、そのまちに住んでいないとよく分からないような問題がたくさんあります。そういう一つ一つの課題や問題を解決するための小さな点がたくさん点在して、ミックスされることでまちづくりの結果解決になっていくんだと思います。点が線に、そして面になっていく感覚です。

みま～もカフェでいうと、まだまだ低空飛行ですが、他の地域でもこんなカフェが生まれて、ぼくらが裏方でそんなお店や人を繋いでいくことが大事だと思っています。ソーシャルワーカーのソーシャルアクションってそういうことだと思うんです。バレないように黒子として動くことで、意欲や能力を持った人が融合して、良いまちづくりになると思っています。何か起きるだろうっていう想定内の想定外がどんどん起きていることが実感として分かるんです。そういう想定外の展開が連鎖して、まちの課題が解決されていくと、そのまちに住む人がもっと幸せになるとと思っています。

## みま～も・かごしま 団体概要

### <活動内容>

みま～もカフェの運営の他、毎月地域づくりセミナーを開催している。また、不定期でコミュニティ市場というバザーイベントを開催している。

### <課題への取り組み>

継続的に運営できるよう収益化を強化していきたい。イベントや広報に力を入れて、取り組みを知って頂き、足を運んでいただきたい。

### <今後の展望>

複数のカフェがリンクすることで価値が上がると思うので、次の店舗を展開したいと考えている。

▷名称：かごしま地域見守りネットワーク『みま～も・かごしま』

▷代表者名：太田 博見

▷会員数：賛助会員 2020年2月現在 16社

▷主な事業：地域包括ケアシステム、まちづくり活動

▷連絡先：(TEL) 090-5939-7007

(MAIL) y.mizuguchi@mima-mo.link

